

熊本高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	哲学
科目基礎情報						
科目番号	LK405T		科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	情報通信エレクトロニクス工学科		対象学年	4		
開設期	通年		週時間数	1		
教科書/教材	『変容する社会と人間』、河上正秀・小林秀雄（編著）、北樹出版					
担当教員	永野 拓也					
到達目標						
到達目標1 認識と科学 ①日常の認識のしくみを検討でき、問題点について説明できる。②近代自然科学の世界観、および科学的認識の特徴とその問題について説明できる。 到達目標2 倫理的問題 ①哲学的認識論について説明できる。②哲学・倫理学的問題（価値問題）と自然科学の問題（事実問題）との違いについて説明できる。到達目標3 科学技術と現代社会 ①科学技術と現代社会の問題について説明できる。 ②科学技術とかわからざるを得ない現代人にとつての、科学技術との関わり方の具体的な方針を説明できる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	下記進め方、授業内容・方法の①と②について、教科書で確認する要点の整理と基礎的な問題の理解ができる。その上で、具体的な事例について、論理的に根拠づけられた考察を陳述することができる。		下記進め方、授業内容・方法の①と②について、教科書で確認する要点の整理と基礎的な問題の理解ができる。あるいは、具体的な事例について、論理的に根拠づけられた考察を展開するか、自分の意見を示すことができる		下記進め方、授業内容・方法の①と②について、教科書で確認する要点の整理と基礎的な問題の理解がおぼつかない。	
評価項目2	下記進め方、授業内容・方法の①と②について、教科書で確認する要点の整理と基礎的な問題の理解ができる。その上で、具体的な事例について、論理的に根拠づけられた考察を陳述することができる。		下記進め方、授業内容・方法の①と②について、教科書で確認する要点の整理と基礎的な問題の理解ができる。あるいは、具体的な事例について、論理的に根拠づけられた考察を展開するか、自分の意見を示すことができる。		下記進め方、授業内容・方法の①と②について、教科書で確認する要点の整理と基礎的な問題の理解がおぼつかない。	
評価項目3	下記進め方、授業内容・方法の①と②について、教科書で確認する要点の整理と基礎的な問題の理解ができる。その上で、具体的な事例について、論理的に根拠づけられた考察を陳述することができる。		下記進め方、授業内容・方法の①と②について、教科書で確認する要点の整理と基礎的な問題の理解ができる。あるいは、具体的な事例について、論理的に根拠づけられた考察を展開するか、自分の意見を示すことができる。		下記進め方、授業内容・方法の①と②について、教科書で確認する要点の整理と基礎的な問題の理解がおぼつかない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	現代社会が直面している具体的な諸問題を取りあげる。それぞれの問題について、次の三つの事柄を考察し、説明できるようにする。 1.客観－主観構造を分ける近代的・西欧的認識とそれを先鋭化させた科学的認識の特徴と利点・問題点。 2.倫理学的な問題提起と科学的認識の違いと両者の関係。 3.「科学技術」が自然的な・社会的な「環境」に与える影響と、「科学技術」と避けがたく思われる現代人の責任。					
授業の進め方・方法	それぞれの具体的な応用倫理学的問題について、次の三つのステップを踏まえて、講義形式で説明する。1. 認識と科学 ①日常の認識と問題点 ②近代自然科学の世界観および科学的認識の特徴とその問題 2. 倫理的問題 ①哲学的認識論 ②哲学・倫理学的問題（価値問題）と自然科学の問題（事実問題）との違い 3. 科学技術と現代社会 ①科学技術と現代社会の問題 ②科学技術とかわからざるを得ない現代人にとつての、科学技術との関わり方の具体的な方針					
注意点	2単位 60時間 本科目と関連する科目は2年次開講の「倫理」である。講義内容に関して、理解度を確認するためのワークシートを配付する。また、参照してほしい文献や記事なども適宜指示する。各自で図書館やネット等を利用し、学習内容に関する自学自習をおこなうこと。シートは回収し、評価対象とする。 日々、メディアやネットを通して知る問題について、みなさんはそれなりに意見を持つと思います。本授業はその意見を「概念的に」整理し、視野を広げ、問題の構造についての理解を深めるための授業です。授業を授業でおいしまいにせず、日常にフィードバックさせてください。 本科目は、90分の授業に対して放課後・家庭で90分程度の自学自習が求められます。					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	1. 認識と科学 2. 倫理的問題 3. 科学技術と現代社会 学生の要望を踏まえて、教科書の各章を選択して進める。		1 ①日常の認識のしくみを検討でき、問題点について説明できる。②近代自然科学の世界観、および科学的認識の特徴とその問題について説明できる。 2 ①哲学的認識論について説明できる。②哲学・倫理的問題（価値問題）と自然科学の問題（事実問題）との違いについて説明できる。 3 ①科学技術と現代社会の問題の関連について説明できる。②科学技術とかわからざるを得ない現代人にとつての、科学技術との関わり方の具体的な方針を説明できる。	
		2週	同上		同上	
		3週	同上		同上	
		4週	同上		同上	
		5週	同上		同上	
		6週	同上		同上	
		7週	同上		同上	
		8週	同上		同上	
	2ndQ	9週	中間試験			

後期		10週	答案返却 1. 認識と科学 2. 倫理的問題 3. 科学技術と現代社会 学生の要望を踏まえて、教科書の各章を選択して進める。	1 ①日常の認識のしくみを検討でき、問題点について説明できる。②近代自然科学の世界観、および科学的認識の特徴とその問題について説明できる。 2 ①哲学的認識論について説明できる。②哲学・倫理的問題（価値問題）と自然科学の問題（事実問題）との違いについて説明できる。 3 ①科学技術と現代社会の問題の関連について説明できる。②科学技術とかがわからざるを得ないの現代人にとっての、科学技術との関わり方の具体的な方針を説明できる。	
		11週	同上	同上	
		12週	同上	同上	
		13週	同上	同上	
		14週	同上	同上	
		15週	同上	同上	
		16週	定期試験返却		
	3rdQ	1週	1. 認識と科学 2. 倫理的問題 3. 科学技術と現代社会 学生の要望を踏まえて、教科書の各章を選択して進める。	1 ①日常の認識のしくみを検討でき、問題点について説明できる。②近代自然科学の世界観、および科学的認識の特徴とその問題について説明できる。 2 ①哲学的認識論について説明できる。②哲学・倫理的問題（価値問題）と自然科学の問題（事実問題）との違いについて説明できる。 3 ①科学技術と現代社会の問題の関連について説明できる。②科学技術とかがわからざるを得ないの現代人にとっての、科学技術との関わり方の具体的な方針を説明できる。	
		2週	同上	同上	
		3週	同上	同上	
		4週	同上	同上	
		5週	同上	同上	
		6週	同上	同上	
		7週	同上	同上	
		8週	中間試験	中間試験	
		4thQ	9週	答案返却 1. 認識と科学 2. 倫理的問題 3. 科学技術と現代社会 学生の要望を踏まえて、教科書の各章を選択して進める。	1 ①日常の認識のしくみを検討でき、問題点について説明できる。②近代自然科学の世界観、および科学的認識の特徴とその問題について説明できる。 2 ①哲学的認識論について説明できる。②哲学・倫理的問題（価値問題）と自然科学の問題（事実問題）との違いについて説明できる。 3 ①科学技術と現代社会の問題の関連について説明できる。②科学技術とかがわからざるを得ないの現代人にとっての、科学技術との関わり方の具体的な方針を説明できる。
			10週	同上	同上
			11週	同上	同上
			12週	同上	同上
			13週	同上	同上
			14週	同上	同上
			15週	同上	同上
			16週	定期試験返却	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	課題	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	20	0	0	0	0	100
基礎的能力	80	20	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0